

ウィルマー・インターナショナル(WLIL)

中国とインドにおける下流分野の成長、「NPDE」ポリシーの採用と「RSPO 認定」取得など持続可能性の重視

シンガポール | 農産物 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG WIL:SP | REUTERS WLIL.SI

- 2025/12期1H（1-6月）は、売上が前年同期比6.3%増、コア純利益が同3.7%減。トロピカルオイルや砂糖販売を巡る環境が厳しくなった。
- 中国における消費者向け製品・セントラルキッチン関連ビジネス、およびインドの食用油・小麦粉市場など下流事業の成長性が見込まれる。
- 「NPDE」ポリシーの採用と「RSPO認定」取得など持続可能性を重視した経営方針は、新規分野への進出の際に優位に働くと見込まれる。

What is the news?

8/12発表の2025/12期1H（1-6月）は、売上が前年同期比6.3%増の328.91億USD、EBITDAが同11.9%増の20.02億USD、非継続事業や非経常的損益の影響を除くコア純利益が同3.7%減の5.83億USDだった。運転資本の変動を除く営業キャッシュフローは同32%増の18.72億USD。全体の販売量が伸びて増収に貢献したほか、合弁事業や関連会社からの投資利益が増加したものの、トロピカルオイルおよび砂糖販売関連ビジネスをめぐる環境が厳しくなったことが利益面に響いた。

1Hの事業セグメント別の業績は以下の通り。①食料製品部門（消費者向け製品、ミディアム・バラ包装製品）は、税引き前利益（PBT）が前年同期比34%増の1.95億USD。販売量が4%増の1626万トン。うち消費者向け製品が5%増、ミディアム・バラ包装製品が4%増だった。②飼料および工業製品部門（トロピカルオイル、油糧種子・穀物加工、砂糖）は、PBTが29%減の3.81億USD。販売量が5%増の3167万トン。うちトロピカルオイルが5%増、油糧種子・穀物加工が20%増に対し、砂糖が22%減だった。砂糖部門は前年同期に中国で強かったことの反動減が出た。③プランテーションおよび製糖部門は、PBTが3.7倍の2.02億SGDだった。

How do we view this?

同社の成長可能性としては、第1に、中国市場における子会社イハイ・ケリー・アラワナ（YKA）を通じた消費者向け製品・セントラルキッチンなど下流工程事業が有望だ。中国の都市化と即席食品事業の高まりを受け、2025年に3つの新フードパークを稼働予定だ。第2に、インド市場では同国最大のコングロマリットであるアダニグループから合弁事業のアダニ・ウィルマーの株式を取得し、支配株主となった。これにより、インドの食用油・小麦粉市場で主導的なポジションを確立し、今後の利益貢献が見込まれる。

同社は持続可能性を重視している。「森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ」を意味する「NDPE」ポリシーを採用し、「RSPO（持続可能なパーム油円卓会議）認定」を取得している。国際的な非営利組織であり、シンガポールに本部を置くRSPOは、パーム油産業が環境破壊などの課題を引き起こしていることを背景に、持続可能性を確保するための基準設定と認証制度を運営している。このような経営方針は、バイオディーゼルなどの需要増に対応した新規分野への進出に際し、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資を呼び込みやすい面があるだろう。

業績推移

※参考レート 1SGD=105.41円、1USD=1.3708円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高(百万USD)	73,398	67,155	67,379	71,554	75,497
当期利益(百万USD)	2,402	1,524	1,169	1,290	1,477
EPS(USD)	0.38	0.24	0.19	0.20	0.23
PER(倍)	9.52	13.49	15.58	14.04	12.50
BPS(USD)	3.20	3.23	3.18	3.29	3.42
PBR(倍)	1.13	1.00	0.93	0.87	0.83
配当(USD)	0.17	0.17	0.16	0.11	0.13
配当利回り(%)	4.70	5.25	5.41	3.86	4.56

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

 配当予想(USD) **0.11** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **2.85** 2025/10/06

会社概要

1991年にシンガポールの富豪として有名なクー一族のクオック・クーホンとインドネシアの富豪マルチュア・シトラスにより設立。現在の筆頭株主は世界2大穀物メジャーの一角を占めるアーチャー・ダニエルズ・ミッドランド(ADM)であり、世界最大のパーム油企業であるほか、農産物生産企業としても世界5位以内に数えられている。

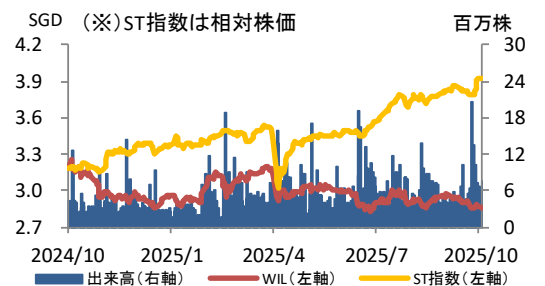
同社の部門セグメントは、食料製品部門、飼料・工業製品部門、およびプランテーション・製糖部門から構成される。

①食料製品部門は、「消費者向け製品事業」および「ミディアム・バラ包装製品事業」を営む。

②飼料・工業製品部門は、プランテーション農業やヤシ油・パーム油・パーム核油などのトロピカルオイル(熱帯油)を取り扱う「トロピカル事業」、油糧種子の搾油や食用油精製、油に係る消費者向け製品の製造・販売を行う「油料種子・穀物加工事業」を含む。

③プランテーション・製糖部門は、パーム油関連を除くプランテーション、および砂糖製造や小麦の製粉・精米などを営む。

企業データ (2025/10/7)

 ベータ値 0.64
 時価総額(百万SGD) 17,792
 企業価値=EV(百万SGD) 38,440
 3ヵ月平均売買代金(百万SGD) 18.8


(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主 (2025/10)

 (％)
 1.アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド 22.49
 2.KUOK BROTHERS SDN BHD 18.79
 3.KERRY GROUP LTD 5.81

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。